

歌とダンスで、 僕たち・私たちの元気を届けよう

教育課程上の位置付 生活単元学習

実施概要

今回、初めて、高齢者施設を訪ねて、歌とダンスで交流をしました。3階のデイルームで、児童は一列になって利用者に向かい合い、始めに児童がCDに合わせて「歌えバンバン」を振り付きで歌い、2回目は利用者も振りをつけて歌いました。

続いて、「ラーメン体操」を児童が披露し、2回目は利用者も思い思いの振りを付けました。3曲目「東京音頭」では児童が長い輪になって踊り進み、利用者は手拍子や歌で楽しみました。

活動参加者 当校 児童…18人 担当教員…9人
内訳 交流先 利用者…35人 担当職員…4人

交通手段 当校と八雲苑との距離はおよそ1km
(行き)徒歩で訪問 約20分 (帰り)スクールバス 約7分



さあ、一緒にラーメン体操を踊りましょう

活動報告 実施日：10月18日(木)

児童はおそろいの赤いはっぴを着て、始めに振りを付けて「歌えバンバン」を歌いました。利用者は、児童の姿に目を細めながら手拍子をし、2回目は歌詞や振りを見て、笑顔で参加していました。

続く「ラーメン体操」では、利用者も日頃から親しんでいる曲とのことで、さらに笑顔があふれました。利用者の手を取って踊る児童もいて、全員が思い思いの動きで楽しんでいました。

「東京音頭」では、児童は元気に踊り進みました。前列の利用者は施設が準備した赤いはっぴを羽織り、声高らかに歌う利用者もいて、にぎやかな一体感に包まれました。代表児童が手作りのしおりを渡し、最後に係児童からお礼の言葉を伝えて、活動を終了しました。

■活動のために準備したもの

- めくりプログラム
- 歌詞カード(掲示用) 2点
- 利用者への記念品(しおり)

■工夫したところ

音楽を中心とした交流を考え、児童が披露するだけでなく、利用者の方と交流できるような活動を計画しました。最初に児童が歌やダンスを披露し、その後に利用者の方々も一緒に歌ったりダンスをしたりすることで、一緒に楽しめるようにしました。

■実施にあたって注意したところ

- 事前打合せの他に、施設で行われている音楽療法の様子を担当が見学し、交流内容や配置等を考える参考にしました。
- 午後の活動となったため、スクールバスを利用してスムーズに帰校するようにしました。

■良かったと思うところ

初対面の利用者の方々楽しく活動でき、学校では見られない児童の様子を発見できました。利用者の方々が喜んでくれ、児童にとっても達成感や充足感を味わうことができる貴重な経験となりました。

■今後に向けての学校からの抱負

今回の体験は、児童たちにとっても「人のために何かできる」ということが体験できるよい機会となりました。今後も、児童に無理のないように時期や内容を検討し、児童が学校で取り組んだ活動を表現する機会として、計画・実施をしていきたいです。

当日のスケジュール

- 13:30 学校、施設、SSC、都教委 4者事前打合せ(ロビー)
- 13:35 児童、施設到着(靴の履き替え、うがい、手洗い、トイレ等。食堂にて、はっぴを着用。その後、3階に移動)
- 13:55 会場横の廊下に待機
(開会に先立ち、施設職員より本活動の紹介)
- 14:00 開会 児童入場。「始めの言葉」(担当児童)
「歌えバンバン」(児童が振りをつけて歌った後、ゆっくりしたテンポで利用者も一緒に振りを付けて歌唱)
「ラーメン体操」(児童がダンスを披露した後、利用者も一緒に楽しむ)
- 14:10 「東京音頭」(児童は踊り。利用者は歌や手拍子で参加)
代表児童より利用者に記念品贈呈
- 14:25 閉会 「お礼の言葉」(係児童)
- 14:30 福祉課長感想、副校長挨拶
- 14:45 終了 児童退場、1階食堂へ スクールバスで学校へ帰校

当校は、小学部・中学部を設置する知的障害特別支援学校です。「自立と社会参加に向けて、主体的に生きる力を育てる」を教育目標として教育活動を推進しています。また、開校40周年を節目に取り組んでいる「調布ブランド」づくりも、3年目を迎えて更なるステップアップを図っています。社会貢献活動は、中学部の作業学習において、近隣の大学からペットボトルを集め、洗浄した後でつぶすりサイクルの活動をしています。

活動の感想

児童・教員の感想

児童

- おばあちゃんのために、東京音頭を踊りました。
- おばあちゃんが見てくれて、楽しかった。
- 「歌えバンバン」を頑張りました。音楽で、練習しました。
- 1学期に学校で行った夏祭りみたいでした。楽しかったです。
- おじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントをあげました。
- 喜んでもらいました。

教員

今回、交流させていただいた八雲苑は、1学期に学校間交流を行った小学校の近くにある施設でした。児童も数回歩いたことのあるルートだったので、スムーズに訪問することができました。車いすの利用者の方々と接する機会は初めてでしたが、児童が授業で取り組んできた歌やダンスを元気いっぱいに披露し、喜んでいただけてよかったです。

施設の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 元気をいっぱいもらいました。うれしくて胸がいっぱいになりました。
- 本当に感激して、よかったです。また、来てください。
- ここまで練習するのは、大変だったと思います。よかったです。
- 沢山の元気をいただきました。同じ色の赤いはっぴでうれしかったです。
- 今日は、ありがとうございました。また、遊びと元気を届けに来てください。楽しみに待っています。

福祉課長

調布八雲苑は、地域のなかに存在する施設として、地域住民とのつながりを大切にしています。今回このような機会に都立調布特別支援学校と交流ができ感謝しております。打ち合わせをする度にお互いが地域にできる社会貢献を考えました。児童は日頃の成果を発揮し、タイトルの「歌とダンスで、僕たち・私たちの元気を届けよう」とおり、児童の笑顔で利用者の皆さんは沢山の元気をいただきました。今回の交流を機会に今後も連携していきましょう。

■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 6月22日 (コ)、当校を訪問。副校長と打合せ。その後、(コ)、八雲苑を訪問。事業を説明。施設長と福祉課長、快諾
- 7月27日 (コ)と主幹教諭、八雲苑を訪問。施設内の実施予定場所を見学、打合せ
- 8月7日 担当主幹教諭、施設を訪問。音楽療法を見学
- 10月1日 (コ)と主幹教諭、八雲苑を訪問。福祉課長と3者で詳細の打合せ。その後、電話にて3者で詳細を最終打合せ

交流先



社会福祉法人 東京かたばみ会

特別養護老人ホーム 調布八雲苑

住所：東京都調布市八雲台1丁目5番5号

■施設概要

- 特別養護老人ホーム 定員60名
- ショートステイ 定員4名
- 高齢者住宅サービスセンター
- 通常規模型通所介護 定員25名
- 認知症対応型通所介護 定員12名
- 居宅介護支援事業所
- 調布市地域包括支援センター



おそろいのはっぴで、楽しい東京音頭です



私たちの手作りのしおりです。お使いください